

町政を問う



9月定例会の初日(9/5)に次の事項について一般質問が行われました。(通告順)

◆ 中村 忠行 議員 …… P11

①観光・交流事業について

◆ 大場 洋介 議員 …… P12

- ①子育て世代への助成拡大について
- ②自然災害における復旧状況と今後の対策について

◆ 星川 智子 議員 …… P13

- ①町民の意見を取り入れた町づくりについて
- ②除雪支援事業と場所に合った柔軟な除雪について

一般質問とは

年4回の定例会で行う。議員が町の行政全般について、事業執行の状況や将来の方針等について所信を質し、あるいは、報告や説明を求めるなどの政策議論の場である。

町議会では、質問要旨を事前に通告することとし、60分という限られた時間内で、大所高所からの建設的で簡明な質問が求められている。

他県自治体との交流事業を

回答 商工会、観光協会と相談する

観光・交流事業では町内商店への経済効果が見えない

中村忠行議員 これまでの観光・交流事業の事業評価と経済効果は、産業課長 町では、街並み景観施策を基軸とし、シエーネスハイム金山を拠点とした観光・交流、マルコの蔵教育委員会が実施している「大学との新たな連携事業」「PR特使」お二人の俳優による「観光大使」などを連携させながら、町の魅力アップやPR事業、インバウンド誘致事業

などに取り組んでいる。また、東京都市大学・町民・行政の連携による「街並みライトアップ事業」や、主に七日町商店会と観光協会が連携した「かねやま街市」など、町民との協働により町外の方々を呼び込む取り組みなども行っている。

今後の施策展開に必要なPDCAサイクルの「Check(評

価)は「金山町まち・ひと・しごと創生総合戦略」で目標設定している「KPI(重要業績評価指標)」において、交流人口や公営住宅入居率、移住窓口相談からの移住世帯数などの項目を設定し、評価しながら進めている。経済効果については、金額、数値で計るというのは非常に難しいと捉えている。

中村議員 シエーネスハイム金山と、町内の商店の方々とのつながりが、希薄に感じられるが、町長 従来のようにホテルに泊まったり、食事は町内ですごくお客さんが少なく、いろいろな面々で連携という部分が課題になる。



唯一同名の福島県金山町にて(10月9日)

官民が共同して取り組み、できる限り町内にいるいろいろな経済効果が波及するように努めたい。

民間交流のきっかけとなる自治体間協議を

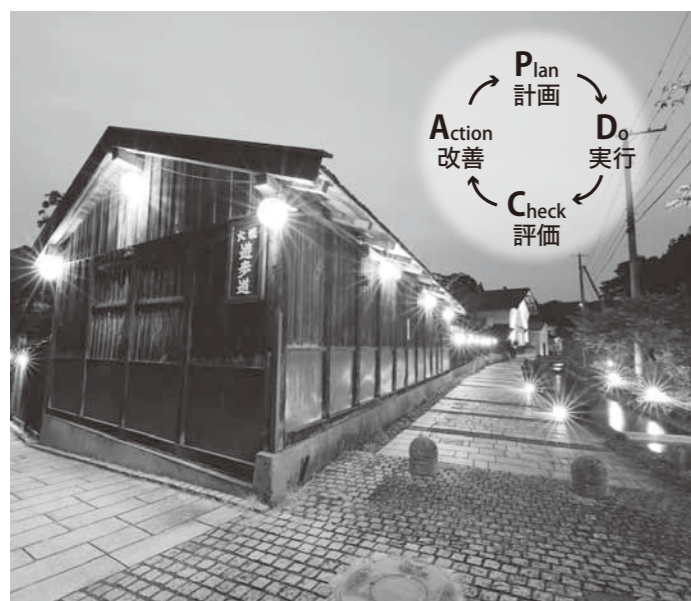
中村議員 町とつながりのある自治体との交流事業を模索しては。産業課長 今年4月から、グリーンバレー神室やシエーネスハイム金山のPRをはじめ町

全体の観光・交流を強力に推し進めるため、観光交流推進員を配置している。町長 民間の方々とのつながりということでは、応援できるところは積極的に応援していきたい。

提案いただいた、行きたい。提案を実現できないかというところ、まずは山支那、或いは、町観光協会と話をしたい。



中村 忠行 議員



観光誘客への期待も大きいライトアップ

